

## 北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学医学研究院循環病態内科学講座では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] 大動脈弁狭窄症における proximal isovelocity surface area (PISA)法を用いた弁口面積算出の妥当性に関する検討

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 岩野 弘幸（北海道大学病院循環器内科 助教）

[研究の目的]

社会の高齢化にともない、動脈硬化性変性による大動脈弁狭窄症(Aortic stenosis: AS)の患者数は急増しています。近年、従来は外科的手術が行えなかった超高齢者に対する経カテーテル的大動脈弁置換術が行われるようになり、その実施件数は飛躍的に増加し、AS は高齢者医療の重要な位置を占めるようになってきました。AS の重症度評価は心エコー検査により行われておりますが、しばしばその重症度評価が不正確となるような症例があります。そこで私たちは、他の弁膜症の重症度評価に用いられている計測方法を AS に適用できるか否かを検討することとしました。もし適用可能であれば、前述の不正確となるような症例に対しても正確に評価することが可能となり、高齢者 AS の診断にきわめて有用な診断法となることが期待されます。

[研究の方法]

### ●対象となる方

2018 年 3 月から 2019 年 3 月までの間に、北海道大学病院を受診され、担当医が診療のために必要と判断して心エコー検査が行われた患者さんのうち、年齢が 20 歳以上の方。

### ●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、身体所見、心電図所見を調査させていただきます。なお、心疾患患者さんにおいては臨床経過と検査時点の治療内容を調べさせていただきます。
2. 心エコー検査記録から、左室内径、左室容積、左室壁厚、左室心筋重量、左室収縮機能、左室流出路径、左室流出路通過血流の時間速度積分値、大動脈通過血流の時間速度積分値など通常の検査内容で得られる所見を調べさせていただきます。
3. 経食道心エコー検査結果（実施していた場合のみ）

[研究実施期間]

病院長による許可日～2019 年 9 月 30 日（登録締切日 2019 年 3 月 31 日）

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で管理し、研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北 15 条西 7 丁目

北海道大学病院循環器内科 助教 岩野 弘幸 (研究責任者)

電話 : 011-706-6973, FAX : 011-706-7874